

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **環境局**

基本計画	柱 暮らしを彩る
	大項目 快適に暮らせる身近な生活空間づくり
	取組みの方針 彩りのあるまちづくり

担当局 / 総務担当課名	環境局	総務課
連絡先	582 - 2182	

21年度計画

-1-(1)-

施 策 名 **まち美化活動の拡充**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	北九州市空き缶等の散乱の防止に関する条例(まち美化条例)に基づき、ポイ捨てのない清潔で美しいまちづくりを推進するため、市民や企業、ボランティア団体等と連携し、清掃活動等のまち美化事業を実施することで、まち美化に対する意識の高揚・定着を図っていく。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	彩りのあるまちづくり

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度		目標値	
	まち美化ボランティア清掃参加者の推移(春と秋)	年度		21	実績	125,000 人	年度
まち美化に対する意識の高揚を図るため、「“クリーン北九州”まち美化キャンペーン」(春)、「市民いっせいまち美化の日」(秋)を設定し、市内でのまち美化清掃や啓発行事を行い、参加者の増加に努める。	現状値	127,952	達成度	127,952 人	目標値	125,000人 以上	
				102.4 %			
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月[21年度:執行額]			事業費	1,613 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
				うち一般財源	1,613 千円	3,150 千円	

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	A	(社)北九州市衛生総連合会と共催でまち美化行事を行っており、市民や自治会のまち美化に対する関心は大変高い。また、企業、ボランティア団体等も積極的に清掃活動に参加している(団体の地域貢献活動にもこのイベントは利用されている)。清掃活動イベントを通して、市の施策(「環境モデル都市」、モラルマナーアップ等)のPRの一役も担っている。
		ごみの散乱防止に対する取組として、「ごみの持ち帰り」を広く市民に呼びかける。地域住民の身近でこまめな清掃活動の啓発を図る。まち美化活動を通して、市民のモラル・マナーの向上につなげる。
今後の局施策の方向性		

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価
 下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。

施策名 まち美化活動の拡充

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性		
	C時点[21年度:執行額]					21年度	21年度	
まち美化等啓発事業			1,613 千円	3,150 千円	裁量経費			ウ
事業費のうち一般財源			1,613 千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					

局施策全体のコスト	21年度	
	事業費	人件費(目安)
	1,613 千円	3,150 千円
施策全体の事業費のうち一般財源	1,613 千円	

局施策の
21年度評価

A

【局施策評価】
A: 大変良い状況にある
B: 概ね良い状況にある
C: 概ね良い状況とまでは言えない
D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	環境局	業務課
連絡先	582-2180	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	快適に暮らせる身近な生活空間づくり
	取組みの方針	彩りのあるまちづくり
	主要施策	まち美化活動の拡充

関連計画	
事業期間	平成21年度～平成25年度
経費区分	裁量経費

-1-(1)-

事業名	まち美化等啓発事業
-----	-----------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	北九州市空き缶等の散乱の防止に関する条例(まち美化条例)に基づき、ポイ捨てのない清潔で美しいまちづくりを推進するため、市民や企業、ボランティア団体等と連携し、清掃活動等のまち美化事業を実施することで、まち美化に対する意識の高揚・定着を図っていく。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	まち美化活動の拡充	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	ボランティア清掃参加者数 127,952人	125,000人	125,000人	125,000人	125,000人			
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
		「クリーン北九州」まち美化キャンペーン(春)の清掃参加者数						計画	34,000 人	年度
		市民の自主的な美化活動を促進するために、市内各区での大規模清掃をはじめ、ボランティア団体にいっせいに清掃を呼びかけたり、ポイ捨て防止等の啓発活動(チラシ配布、主要駅前等での街頭啓発)を実施し、清掃参加者数の増に努めている。						実績	34,435 人	内容
								達成度	101.3 %	34,000人以上
「市民いっせいまち美化の日」(秋)の清掃参加者数						計画	91,000 人	年度		
まち美化を継続的に根気強くPRするため、市民参加型の行事として実施し、市民のまち美化意識の高揚・定着を図っている。						実績	93,517 人	内容		
						達成度	102.8 %	91,000人以上		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月(21年度:執行額)						事業費	1,613 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度) 3,150 千円	
							うち一般財源	1,613 千円		
単年度計画										

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年を上回る多くの市民が参加し、市民のまち美化意識の高揚へと繋がった。 ・「自分たちのまちは自分たちの手できれいにする」という市民の美化意識を高めることができた。 ・市民やボランティア団体、NPO、企業、行政等が連携し、まち美化活動に取り組むことができた。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	(社)北九州市衛生総連合会と共催することで、より市民・自治会(衛生協会)とのつながりが強くなり、まち美化に対する関心を持続的に高めることが可能になっている。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	現時点で、十分にコストを削減している。また、市民、団体等への周知申込方法は依頼文・チラシ等の配布とともに、市のホームページ上で申請書のダウンロードも行ってあり、市民の間で浸透することで、より一層のコスト削減を進めている。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	施策実現のため、今後も本事業を積極的に実施していく必要が高いと考えている。また、「環境モデル都市」のPRに市民が身近に触れる機会として一役を担っており、今後も着実に進めていく必要がある。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか。市の関与をなくすることはできないのか。	4	(社)北九州市衛生総連合会との共催事業であり、現在のところ実施主体は市が適当だと考える。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの散乱防止に対する取り組みとして、「ごみの持ち帰り」を広く市民に呼びかけるとともに、地域でのボランティア清掃を、普段から行うよう啓発していくことが必要。また、今後もより多くの市民がまち美化活動に参加するよう働きかけ、市民全体のモラル・マナーの向上にもつなげたい。